

沖 縄 県

沖 縄 県 退 職 校 長 会

結成 平成元年3月24日

全国連合退職校長会が50周年を迎えられたこと、真にめでたく心よりお祝いを申し上げる次第である。

さて、本会は全国組織から遅れること24年、平成元年の結成であった。結成当初の会員は142名であったが、現在は会員692名である。五つの地区退職校長会で構成されている。

結成20周年の記念すべき節目の年には、本会の理念や綱領・運営の基本方針が作成され会として一段と充実してきた。その後、本会の方針

の一つである「子どもたちの健やかな成長と幸せを願いつつ、本県教育の振興と発展に寄与する」ことを重点に活動を継続し取り組んできた。県内外に認識される組織になり得ていると自負している。

平成26年度は、本会にとって嬉しいできごとがあった。全国連合退職校長会の方針の下で取り組んでいる「教育の日」を、本県が「美ら島教育の日（11月1日）」と制定し、初の記念式典も催された。



平成26年度 善行児童表彰式

更に、本会の事業の一つとして「善行児童生徒表彰」がある。この善行児童生徒の表彰は、26年度で16回を数える。今回も県内5地区退職校長会から推薦された個人13名と7団体の子どもたちが表彰された。会長として、式辞で「これからは家庭・学校・勉強・運動・友達が大好きで、立派な児童生徒として成長してほしい」と激励した。受賞者代表も「いろいろなことに積極的に取り組み、自分を高める努力をした」と抱負を語っていた。

この善行表彰では、これまで181名の個人表彰と53の団体表彰を行ってきた。地元の新聞も、毎年、この事業を取り上げ、社会的認知度

も年々高まっている状況である。表彰式における子どもたちの誇らしく嬉しそうな表情と見る関係者を見るにつけ、表彰を機に、子どもたちが更に成長することを願わずにはおれない。

結びになるが、沖縄県退職校長会は、これからも全国の仲間と連携し、会員の親睦を深めつつ、社会のニーズにも対応し社会貢献できる組織でありたい。

今回の設立50周年の意義ある諸事業を立ち上げ、推進された皆様に心より敬意を表し、合わせて全国連合退職校長会の益々の発展をお祈り申し上げる。（事務局長 上間茂樹責）